

鹿児島県最北端の島「獅子島」で2月5日、『獅子島ウォーク』と『獅子島フェア』が2年ぶりに開催されました。

昨年は、出水市で鳥インフルエンザが発生したことにより中止となったこの大会。今年には県内はもとより、遠くは岡山県や福岡県、宮崎県、熊本県などから約600人が参加しました。

獅子島ウォークは、片側集落にある獅子島アイランドセンターを発着点として、七郎山（標高393社）山頂を折り返す13社のコースで開催されました。

この日参加者らは、長島本島の諸浦港や熊本県水俣市の水俣港、天草市の中田港から定期船や貸切船などで次々に獅子島へと来島しました。このほか、獅子島を満喫しよう

と前日から島内の民宿に宿泊した参加者もあり、獅子島じゅうが活気に包まれました。

オープニングでは、阿久根市の和太鼓グループ「鹿児島毘沙門太鼓響流」による和太鼓演奏で幕を開けました。

開会式で、獅子島ウォーク実行委員会の池田卓男会長は「ようこそ獅子島へおいでくださいました。本日は、獅子島なりのおもてなしを十分に満喫してください」とあいさつ。その後、花火の合図で一斉にスタートし、起伏の激しい難コースに挑みました。

会場では、獅子島小学校（小磯俊彦校長）の児童14人が歓迎の手紙を添えた手作りの杖40本が配られ、参加者に喜ばれていました。

中継点や七郎山山頂では、島民たちがポンカンや甘酒を提供し、獅子島アイランドセ

ンターでは、地元婦人会がアオサ汁とおにぎりを振る舞うなど、手作りの企画と味で参加者をもてなしました。

同日、発着点となった獅子島アイランドセンター前では、獅子島フェアも開催され、ナマコや青オサ、ヒオウギ貝、焼きイモ、ミカン、コロッケなどの地元特産品が販売され、新鮮な食材が格安で手に入るとあって、各出店には買い物客が殺到するほどの盛況ぶりでした。

鹿児島市郡山町から参加した宮路正人さん（58）は「郡山中学校3年7組の同級生5人で参加しました。難関の抽選に当たりこの日が待ち遠しかった。獅子島の話で夜の同窓会も楽しみ」と話しました。



天草の島々が見渡せる七郎山山頂